



いずみ野

令和3年1月6日

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/izumino/>

学校教育目標 「自分が好き 友だちが好き 学校が好き このまちが好き」
～心豊かに学び合い、ともによりよく生きようとする子～

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます 「粘り強く」と「誠実に」

校長 齋藤 敦子

いずみ野の澄んだ空気の前には、雪を抱いた富士山がひときわ際立ち、新しい年を迎えました。この冬休み、皆様はいかがお過ごしになられましたか。

昨年、保護者の皆様、地域の皆様には本校の教育活動に多大なお力添えをいただきました。心より感謝申し上げます。本年も子どもたちの笑顔がたくさん見られ、自分らしさを発揮して、健やかに成長することを願わずにいられません。



4階 音楽室ベランダから眺める富士山



今年は、丑年。牛は古くから酪農や農業で人々を助けてきた生き物であり、大変な農作業も最後まで地道ながらも手伝ってくれました。そのことから「粘り強さ」や「誠実さ」が特徴とされるようになったそうです。

本校では昨年のコロナ禍において、様々な活動を初めから諦めるのではなく、できるために工夫をしながら取り組んできました。そこで、1月14日（木）の収穫祭は、従来のもちつき大会に代わるたてわり活動を予定しています。5年生を中心に全校で試行錯誤をして、計画を立てました。もちつきはできるのか、できないのか！お米はどうするのか、何とか食べたいがいったいどうすればよいのか！正に粘り強く考え、誠実に感謝の気持ちを伝えたい！と…。そして、子どもたちの主体的な活動となっていきました。4月から教職員が子どもたちにバトンを渡すまで、活動を諦めずにつなげた農業生産活動！ご指導をいただいた義一様や正美様、ボランティアの皆様に感謝の気持ちを伝える会にしたいと子どもたちが考えています。

さて、1月から各学年のまとめの3か月が始まります。皆が共有する学校教育目標、さらに学年目標、学級目標、そして自分はどうするのかという個人目標、それぞれを達成するために今できることは何かを再確認し、粘り強く取り組んでほしいと思います。

学校が子どもたちにとって安心できる温かな居場所となるよう、そして、個々の違いやよさを丁寧に見つめ、一人ひとりを大切にした教育に教職員一同、粘り強く、誠実に取り組んで参ります。